

#### ホームページのご紹介

当社のホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。

▶ <https://www.smartvalue.ad.jp/>



#### お問い合わせ

本 社 大阪市西区靱本町二丁目3番2号  
なにわ筋本町MIDビル4階

T E L 06-6448-1711 (代表)

F A X 06-6448-1722

MAIL ir-ml@g.smartvalue.ad.jp



REGIONAL INFORMATION CLOUD

MOBILITY SERVICES

HEALTHCARE SUPPORT

SMARTVALUE Lab.

MOBILE

# SMART VALUE

株式会社スマートバリュー  
BUSINESS REPORT

第 **71** 期報告書

| 2017年7月1日 ~ 2018年6月30日 |



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第71期(2017年7月から2018年6月まで)報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

当期、当社は創業90年、創立71周年を迎えることができました。

また、2015年6月に東証JASDAQ市場に新規上場を果たしてからちょうど3年目の2018年6月、

東証第二部への市場変更も実現できました。

これだけの長きに亘り、時代の移り変わりに応じて変化を恐れずに業態を転換させ、

そして成長とガバナンスを両立させながら一つずつ結果を残せたのも、

ひとえに株主の皆さまからのひとかたならぬご支援の賜物と、深く感謝いたしております。

当社のフィロソフィー：企業の目的は“社会の公器として、永続する事業体となる”と記しております。

また、ミッションは“スマート&テクノロジーで、歴史に残る社会システムを創る”と定めております。

永続するためにイノベーションを積み重ね、

情報通信革命期の社会に必要な社会システムをテクノロジーの力を踏まえて創造して参ります。

第71期の業績は、売上高7,305百万円(前期比11.7%増)、営業利益381百万円(前期比38.8%増)、

経常利益375百万円(前期比36.2%増)となり、

地域情報クラウドやモビリティサービスなどのクラウドソリューションが大幅に伸長したことにより、

6期連続での最高益を更新することができました。

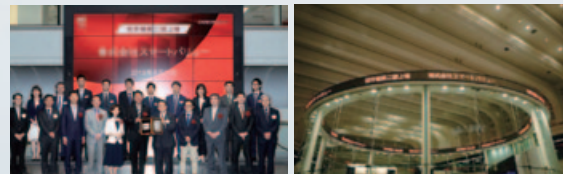
これからも市場の拡大が予想されるクラウド事業を軸に、オープンガバメント・モビリティIoT領域の深耕をより一層推進し、

さらに新領域におけるイノベーションの創出にもチャレンジすることで、着実且つ大胆に事業を展開して参ります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 東京証券取引所市場第二部へ市場変更

2018年6月22日付で、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第二部に市場変更いたしました。今後も、皆さま方のご期待にお応えできますよう、更なる業容拡大と一層の企業価値向上に努めてまいります。



代表取締役社長

岩谷 順

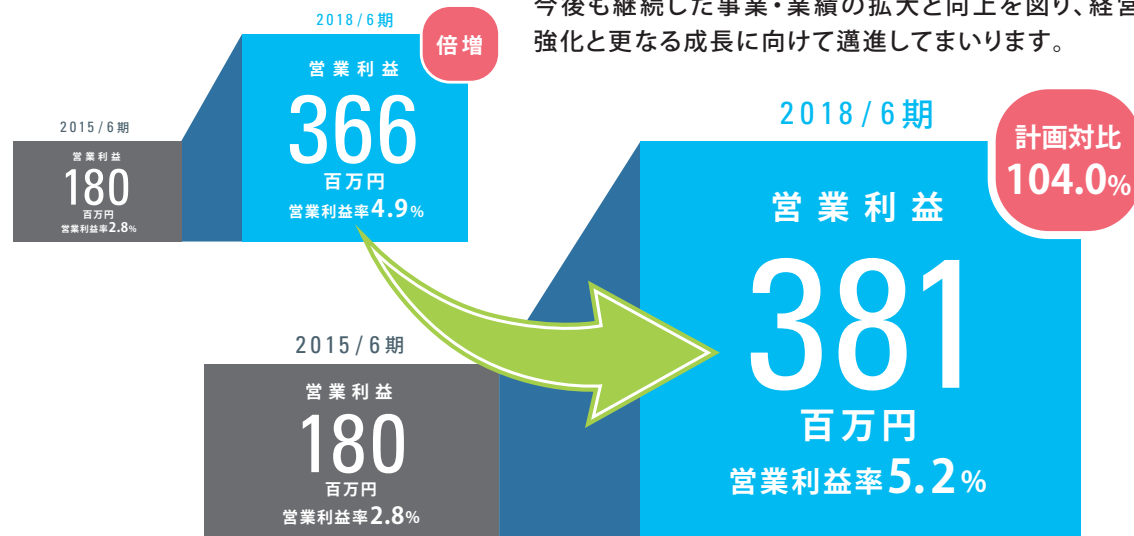


# 営業利益倍増を達成!

● 中期3カ年の方針

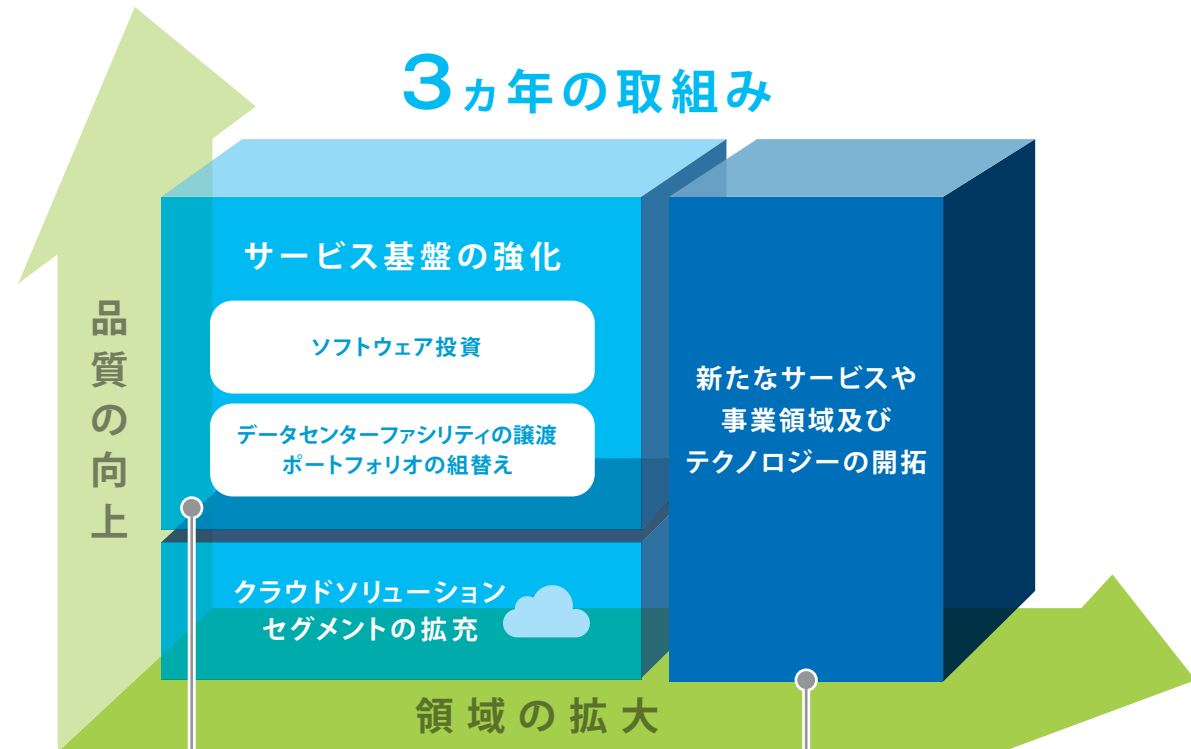
## 強靱! 2015-2018

新規上場時の2016年6月期に発表した2015年7月～2018年6月の「第一次中期事業計画書」に掲げた営業利益倍増目標を達成いたしました。今後も継続した事業・業績の拡大と向上を図り、経営基盤の強化と更なる成長に向けて邁進してまいります。



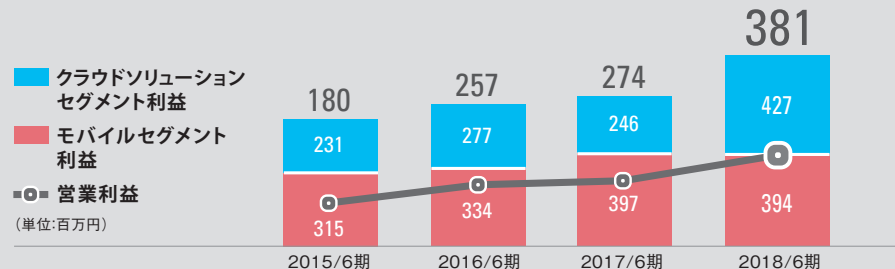
● 中期3カ年の取組み

## 3カ年の取組み



### 中期3カ年の推移

第一次中期経営計画の最終年度となった2018年度は、その基本方針に沿って進めてきたさまざまな施策が功を奏し、6期連続の最高益と過去最高の売上高を更新するとともに、経営目標を達成することができました。また、財務体質の強化にも注力した結果、自己資本は3カ年で1,811百万円から3,505百万円に増加いたしました。今後は、クラウドソリューションセグメントが中核になっていく計画を進めております。成長分野への積極的な投資を行うことで新たな領域への展開を加速させ、持続的な成長を推進してまいります。



※各セグメント利益からセグメントに属さない一般管理費(調整額)を差引いた額を営業利益としています。

#### サービス基盤の強化

クラウド事業拡大のため、サービス基盤の強化、事業ポートフォリオの組替えに注力いたしました。積極的なソフトウェア投資で既存サービスを強化し、より高品質な社会システムとしてのサービス提供が可能となったほか、利益率向上へも寄与しました。また、2017年9月にはデータセンターの土地・建物の売却を実施。今後特定分野に事業を集中特化するための体制整備を行いました。今後は自社サービスレベルの維持・向上を継続しながら、サービス・ソフトウェアの領域のイノベーションを生み出し、収益の柱となるような事業の確立・事業展開に注力してまいります。

#### 新たなサービスや事業領域及びテクノロジーの開拓

モビリティ・サービスにおけるIoTサービスの開発、地域情報クラウドにおける石川県加賀市での電子行政の推進など、既存事業の領域の拡大のみならず、2018年1月からはヘルスケアサポート事業へも参画いたしました。また、ブロックチェーンやAIといった新たなノウハウやテクノロジーにも展開を図りました。今後はカーシェアやライドシェア・損害保険・観光支援・安全運転支援など、今まで解決できなかった社会問題の解決を図る社会システムの創発に取組んでまいります。

● 売上高

7,305 百万円

前期比  
11.7%  
増

● 経常利益

375 百万円

前期比  
36.2%  
増

● 営業利益

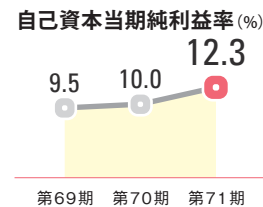
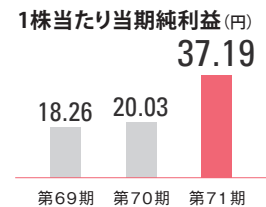
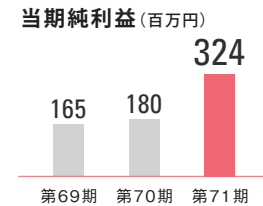
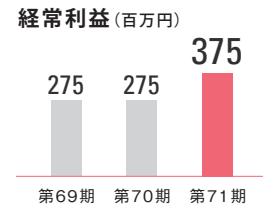
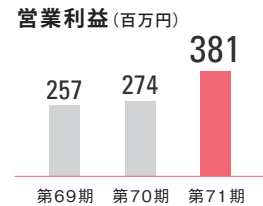
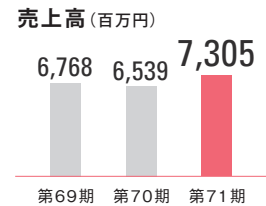
381 百万円

前期比  
38.8%  
増

● 当期純利益

324 百万円

前期比  
80.0%  
増



※2018年1月1日付で普通株式1株につき2株及び2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が第69期の期首に行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出してあります。

● 貸借対照表(要約)

(単位:千円)

科目	第70期	第71期
▼資産の部		
流動資産	1,495,860	3,780,772
固定資産	1,447,961	948,699
(有形固定資産)	932,597	413,960
(無形固定資産)	295,028	268,922
(投資その他の資産)	220,335	265,816
<b>資産合計</b>	<b>2,943,822</b>	<b>4,729,472</b>

▼負債の部

流動負債	807,327	1,164,552
固定負債	349,804	58,824
<b>負債合計</b>	<b>1,157,132</b>	<b>1,223,376</b>

▼純資産の部

株主資本	1,784,477	3,505,356
(資本金)	250,570	959,454
(資本剰余金)	240,836	951,136
(利益剰余金)	1,471,159	1,763,336
(自己株式)	△178,089	△168,571

評価・換算差額等	1,436	—
( その他有価証券評価差額金)	1,436	—
新株予約権	775	739

<b>純資産合計</b>	<b>1,786,690</b>	<b>3,506,095</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,943,822</b>	<b>4,729,472</b>

● 損益計算書(要約)

(単位:千円)

科目	第70期	第71期
売上高	6,539,000	7,305,867
売上原価	4,689,597	5,190,144
売上総利益	1,849,402	2,115,723
販売費及び一般管理費	1,574,568	1,734,219
営業利益	274,834	381,503
営業外収益	3,446	7,156
営業外費用	2,385	12,817
経常利益	275,895	375,842
特別利益	4,210	365,432
特別損失	4,406	277,218
税引前当期純利益	275,699	464,055
法人税、住民税及び事業税	97,189	204,379
法人税等調整額	△1,947	△65,096
法人税等合計	95,241	139,282
当期純利益	180,457	324,772

● キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

科目	第70期	第71期
営業活動によるキャッシュ・フロー	220,479	297,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262,932	692,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301,688	935,939
現金及び現金同等物の増減額	△344,141	1,925,555
現金及び現金同等物の期首残高	799,246	455,104
現金及び現金同等物の期末残高	455,104	2,380,659



## クラウドソリューションセグメント

CLOUD SOLUTIONS SEGMENT



### 地域情報クラウド

開かれた電子行政の推進「オープンガバメント」などを見据え、自治体など公的存在と地域社会・住民とのコミュニケーションを創発する社会システムとしてのクラウドサービスを提供しております。

Service

SMART L-Gov



### モビリティ・サービス

車両の運行管理や安全運転を実現するカーソリューションをベースに、モビリティ・クラウドソリューションでのサービスの創出、提供を推進しております。

Service

カーソリューション、モバイルソリューション  
モビリティIoTサービス  
モビリティIoTプラットフォーム



### クラウドプラットフォーム

データセンターを基盤として、長年蓄積してきたインターネット/サーバに関する技術ノウハウによる最適なプラットフォームをご提案しております。

Service

ハウジングサービス  
Smart VDC



### ヘルスケアサポート

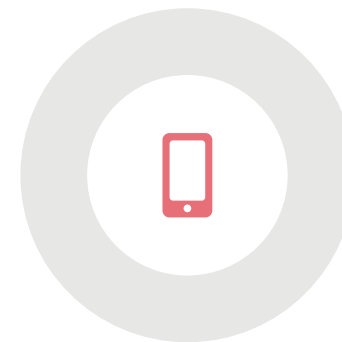
健康経営の視点とテクノロジーを組み合わせ、健康にまつわる社会課題の解決を目的に健康データの利活用を踏まえた新たな仕組みを構築いたします。

Service

WSP  
SMART HEALTHNAVI

## モバイルセグメント

MOBILE SEGMENT



### モバイル

大阪府下において、ドコモショップを6店舗運営しております。スマートデバイスを活用したサービスのご提案により、地域に密着した事業展開を行っております。

運営ドコモショップ



岸和田店



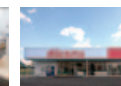
泉ヶ丘店



深井店



アリオ鳳店



中百舌鳥店



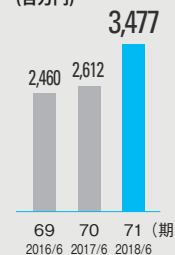
光明池店

CLOUD SOLUTIONS SEGMENT

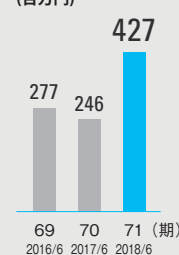
第71期概況

地域情報クラウドでは、市場競争が激化するなか、営業力の強化に注力した結果、新規獲得案件数が大幅に伸長しました。クラウドプラットフォームは、データセンターファシリティの譲渡に伴う対応により減収となりましたが、モビリティ・サービスでは、安全運転支援機器を取扱うカーソリューションとIoT分野の両軸での新規開拓及び既存案件の底上げにより、業績が大幅に伸長いたしました。2018年1月より開始したヘルスケアサポートでは、健診やストレス診断の業務支援サービスにおける人的リソースの確保や事業基盤の強化に注力いたしました。

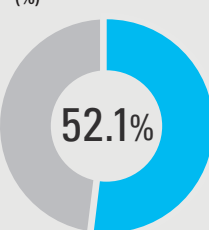
セグメント売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



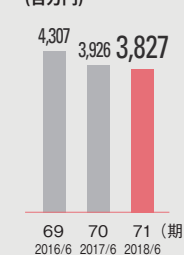
セグメント利益構成比 (%)



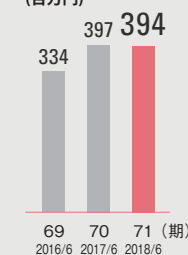
MOBILE SEGMENT  
第71期概況

一部の端末価格の見直しによって収益が改善し、販売単価が向上いたしました。引き続き関西圏における携帯電話・PHS市場の契約数の減少に伴って、当社の販売台数は減少いたしました。また、定休日や年末年始における休業日の設定や営業時間の短縮をはじめとする労働環境の改善に伴い、従業員の定着率の向上に注力いたしました。

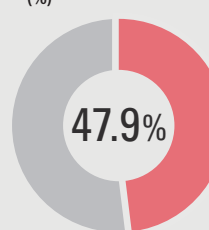
セグメント売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



セグメント利益構成比 (%)



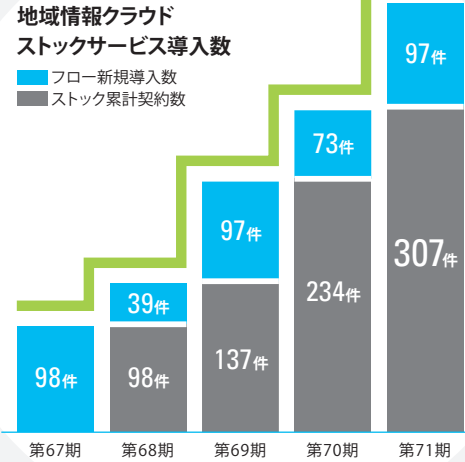
TOPICS 01 地域情報クラウド

地域情報クラウド  
ストックサービス導入数

404件

当社は、本ストックビジネスの契約数を事業の重要な経営指標として位置付けております。地域情報クラウドにおけるストックサービスの自治体及び公的機関との契約数は、2018年6月時点で404件(北海道4件、東北21件、近畿145件、関東112件、信越・北陸28件、中国21件、東海45件、四国4件、九州・沖縄24件)であり、前期比131.6%で進捗しております。市場競争が激化するなか、当社はサービスレベルの向上及び人材育成等営業力の強化に注力いたしました。引き続き行政機関の積極的なウェブ活用による開かれた電子行政の推進「オープングバメント」の取組みを見据え、行政・企業・住民が一体となって地域づくりに取り組む“新たな公”の実現の支援や、ICTを活用した地域課題の解決に努め、ストックの積み上げを図ってまいります。

▶ <http://l-gov.smartvalue.ad.jp/>



TOPICS 02 電子行政の拡大  
石川県加賀市  
ブロックチェーン都市宣言

石川県加賀市にて、加賀市域の産業・資源・公共サービス・人材などの課題にブロックチェーン技術とICT技術を活用して地域コミュニティでの新たな経済圏の創出に取り組めます。今後はサービス基盤の構築やラボの建設など、仮想と現実の両軸でデータを活用した先進的な地域づくりに取り組めます。



TOPICS 03 AIG損害保険と業務提携を開始  
自動車向けIoTサービスを  
共同開発・提供

両社のノウハウを掛け合わせ、法人向けテレマティクスサービス「スーパードライブガード」をAIG損保向けに構築、個人向けテレマティクスサービス「マイドライブガード」を両社で共同開発し、2018年4月より提供を開始いたしました。今後はテレマティクス保険などを含むInsTechの加速にとどまらず、データを活用した新たなソリューションの創造を推進してまいります。



会社概要

商号  
株式会社スマートバリュー

英文表記  
Smartvalue Co.,Ltd.

設立  
昭和22年(1947年)6月

本社所在地  
大阪市西区靱本町二丁目3番2号  
なにわ筋本町MIDビル4階

東京事業所  
東京都中央区築地五丁目6番4号  
浜離宮三井ビルディング6階

都城BPOセンター  
宮崎県都城市中町1街区7号  
IT産業ビル6階

資本金  
959,454千円

従業員数  
294名(2018年6月30日現在)

事業内容  
クラウドソリューション事業  
モバイル事業

ホームページ  
<https://www.smartvalue.ad.jp/>

役員 (2018年9月27日現在)

代表取締役社長 …… 渋谷 順  
取締役 …… 山田 幸人  
取締役 …… 田村 靖博  
取締役 …… 森田 憲作  
取締役 …… 藤原 孝高  
取締役(社外) …… 原 正紀  
取締役(社外) …… 寺田 有美子  
監査役(社外) …… 永島 竜貴  
監査役(社外) …… 大鹿 博文  
監査役(社外) …… 細川 晴弘

株式の概況 (2018年6月30日現在)

発行可能株式総数 6,400,000株

発行済株式の総数 5,132,400株

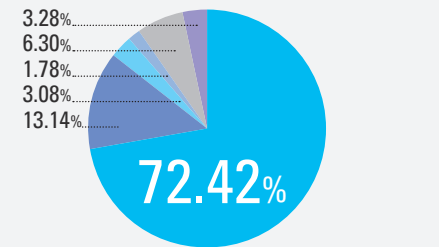
株主数 4,336名

大株主の状況 (2018年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
渋谷 一正	1,142,800	23.02
渋谷 順	708,200	14.27
株式会社希実製作	288,000	5.80
株式会社 commons&センス	288,000	5.80
島田 睦	84,900	1.71
Deutsche Bank AG London 610	65,200	1.31
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	59,700	1.20
日本証券金融株式会社	50,700	1.02
松浦 一夫	46,800	0.94
ML INTL EQUITY DERIVATIVES	44,800	0.90

(注) 1. 持株比率は、自己株式(168,445株)を控除して計算しております。  
2. 自己株式は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況 (2018年6月30日現在)



個人・その他 …… 3,717,005株 (4,224名)  
その他法人 …… 674,300株 (64名)  
金融商品取引業者 …… 157,850株 (17名)  
金融機関 …… 91,600株 (5名)  
外国法人等 …… 323,200株 (25名)  
自己主義株式 …… 168,445株 (1名)

株主メモ

事業年度 定時株主総会  
7月1日～6月30日 9月

基準日 単元株式数  
定時株主総会 6月30日 100株  
期末配当 6月30日  
中間配当 12月31日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同取扱場所  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

公告方法  
当社の公告方法は、電子公告にて行います。ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。当社の公告掲載URLは次のとおりです。  
<https://www.smartvalue.ad.jp/>

上場証券取引市場 証券コード  
東京証券取引所市場第二部 9417